

「グラスリッツェン一日教室 ～世界に一つあなただけのガラス食器～」

を開催しました



平成22年7月6日と14日の2日間、藤岡 道子さんを講師にお迎えしました。

グラスリッツェンとは、ガラス工芸の1つで、ペン先にダイヤモンドパウダーが付いた“ダイヤモンドポイント針”を使って、ガラス食器に小点を打ったり、線を削って模様を描きます。

1回目はガラスに花のモチーフ、2回目はアスパラガスのデザインを丸皿にあしらいました。

まずは、デザイン画をガラス食器に貼り付け、その輪郭を黒いサインペンでなぞります。

そして、黒い線の上をダイヤモンドポイント針で一直線になぞります。このとき、力を入れすぎないのがポイントのようです。

輪郭が削れたら、面を削ります。

全体に白っぽくなるよう、やさしく一方向に。

濃淡をつけると立体感が生まれます。



2時間はあっという間に過ぎ・・・素敵な作品が完成しました。



2回目の受講生の作品です。同じデザイン画を使ったのに、それぞれ個性が出て素晴らしいですね。